



第3回みんなで やってみよう科

2019年11月7日(日)
14:00 ~ 16:30
市役所別館 3階中会議室
参加者 12名

みんなでやってみよう科の流れ

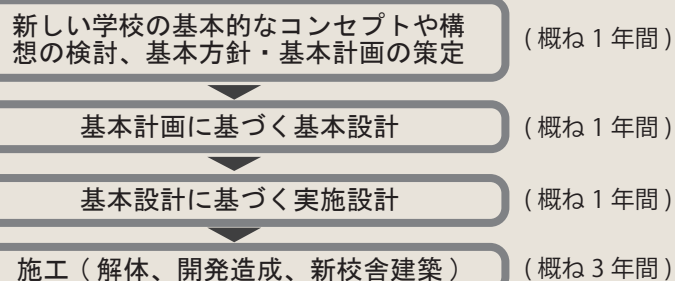
「みんなでやってみよう科」では、交野らしい新しい学校づくりについて考えています。1回目は地域と学校をつなげるための意見交換をしました。2回目は講演会を開催した後、交野らしい新しい学校づくりについて意見交換をしました。3回目となる今回、学校の現状や地域との連携の方法などをクイズ形式で学び、参加者それぞれが考えている企画を共有しました。



新しい学校づくりのステップ

施設一体型小中一貫校を目指した第一中学校区の新しい学校づくりに向けて動き出しています。学校の建設に向けての期間は大きく4つに分けられます。今年度はコンセプトや構想、基本方針・計画を検討してきました。全体の新しい学校に向けたステップとして概ね6年間で想定しており、令和7年4月開校を目指して取り組んでいるところです。

新しい学校の建設に向けたステップ(概ね6年間)



新しい学校での取組みを企画しました!

同じテーブルに座ったメンバーでそれぞれの活動の経験や持ち寄った資料を見ながら、新しい学校で取り組みたいことをワークシートに書き込み、企画書にまとめていきました。それぞれが新しい学校でやってみたい取り組みなど、テーブルごとに意見交換を進めていきました。

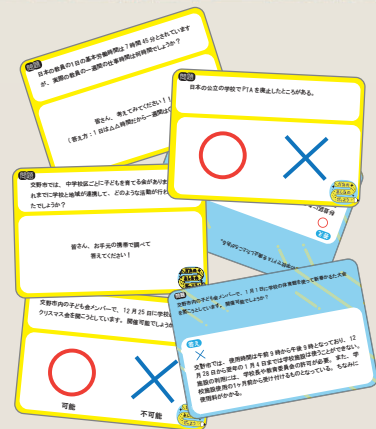


クイズで学ぼう 地域とともにある学校とは[★]

クイズは全部で10問。児童生徒数の減少や学校を使うときのルール、学校と地域の連携方法について学びました。その後、先ほどのワークシートの内容をブラッシュアップし、地域とともにある学校が子ども、学校、地域にどんな効果をもたらすのか話し合いました。



- Q1.** 小・中学校の児童生徒数はピーク時に比べて現在はいくら減っているか？
Q2. 日本の教員の一週間の仕事時間は平均約何時間か？
Q3. 日本の公立学校で PTA を廃止したところがある？
Q4. 小中一貫校を作る動きの背景には子どもたちのどのような課題があったのか？
Q5. 小中一貫型小学校・中学校は全国でいくつあるのか？
Q6. 交野市では 1 月 1 日に学校の体育館で新春かるた大会を開催することが可能か？
Q7. 交野市では 12 月 25 日に学校の家庭科室でクリスマス会を開催することが可能か？
Q8. 交野市では「子どもを育てる会」があり、これまでにどのような活動があるのか？
Q9. コミュニティ・スクールを導入している学校は全国の何パーセントか？
Q10. コミュニティ・スクールを 100%導入している都道府県はどこか？



答え

- | | | | | |
|-------------|--|-----------|--|-----------|
| Q1. 約 1/2 | Q4. 社会性育成機能の強化の必要性
学校現場の課題の多様化・複雑化
「中一ギャップ」
発達早期化に関わる現象
教育内容や活動学習の量的・質的充実 など | Q5. 253 校 | Q8. けやきの木交流会
花いっぱい運動
土曜学習
花壇整備
図書ボランティア など | Q9. 21.3% |
| Q2. 約 55 時間 | | Q6. × | | Q10. 山口県 |
| Q3. ○ | | Q7. × | | |

クイズの補足説明

現在の小・中学校について

- PTA の代わりになる組織があれば PTA は必ず必要とは言えない
- 国際調査で日本の教員の 1 週間の仕事時間は最長である
- 現在、児童生徒数は 6,240 人、30 年後はピーク時の 1/4 (予測)

コミュニティ・スクールについて

- コミュニティスクールとは「学校運営協議会」を設置している学校を示し、山口県はコミュニティ・スクールを 100%導入しているが、大阪府は 1.5% であり地域によって差がみられる
- 全国でコミュニティ・スクールは 7,601 校、全体の 21.3% であり、去年から 2,169 校増えている

小中一貫校について

- 「中一ギャップ」や発達早期化に関わる現象、学校現場の課題の多様化・複雑化などから小中一貫校が開校されている
- 小中一貫校は平成 28 年から平成 29 年で 80 校増えている

交野市の学校の現状について

- 学校は屋内運動場と屋外運動場だけ有料で貸し出しをしている
- 施設の使用時間は平日 17 時～ 21 時、休日 9 時～ 21 時であり、12/28～1/4 は使えない
- 「子どもを育てる会」は学校と地域で協力し、たくさんの活動を行っている

1 班

学校をどう活用するかについてルールと仕組みづくりが大切だと思う。その 1 つの事例としてコミュニティ・スクールが挙げられる。先生でもない親でもない第三者を巻き込んでいくことの必要性を学んだ。



2 班

学校としても地域の人にとたくさん来て欲しい、地域の人も学校の現場で自分の専門性を活かしたいという気持ちがある。コミュニティ・スクールという仕組みを活用することで可能になるのではないかなと思う。



3 班

クイズの条例の話が衝撃的だった。学校施設をもっと使いやすくするための新しい仕組みが必要。さまざまな課題を学校と地域が一緒になって考えていくことのできる環境づくりが必要。



次回のご案内

第 4 回みんなでやってみよう科
 「学校での活動のルールを考えよう」
 12 月 22 日 (日) 14:00 - 16:30
 いきいきランド 1 階会議室 1・2

今回はあたらしい学校の建設が
 予定されている交野小学校の周辺を
 みんなで歩きます！



製作：studio-L
 発行：交野市教育委員会事務局
 学校規模適正化室
 〒576-0052
 私部 2 丁目 29 番 1 号